

国語 第4学年 力を合わせてばらばらに 授業の設計図

元にした物：小学校学習指導要領（平成29年告示）の原文と、国立教育政策研究所の学習評価の参考資料。教科書の本文・問題・挿絵は入れていません（先生が入れる欄）。光村図書の令和6年度版年間指導計画に基づく1学期の授業案。教材本文・台詞・挿絵・問題文は転載していない。

この単元で子どもが最後にできるようになること

相手の言葉をよく聞き、互いの考えを比べて条件に合う応答を選ぶ。学習の記録は、聞き取った特徴、予想した対象、答えを照合した記録である。

学習指導要領のどこに書いてあるか（原文）

学習指導要領の項目	原文
〔第3学年及び第4学年〕〔知識及び技能〕(1)オ	オ 様子や行動，気持ちや性格を表す語句の量を増し，話や文章の中で使うとともに，言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し，語彙を豊かにすること。
〔第3学年及び第4学年〕A 話すこと・聞くこと(1)エ	エ 必要なことを記録したり質問したりしながら聞き，話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え，自分の考えをもつこと。

単元の目標

様子や行動、気持ちを表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。（〔知識及び技能〕(1)オ）

必要なことを記録しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもつことができる。（A(1)エ）

相手の言葉をよく聞き、互いの考えを比べて条件に合う応答を選ぶ学習の中で、言葉への関心をもち、自分の取り組みを見直そうとする。

評価規準（3観点）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①様子や行動、気持ちを表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。（〔知識及び技能〕(1)オ）	①「話すこと・聞くこと」において、必要なことを記録しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもっている。（A(1)エ）	①相手の言葉をよく聞き、互いの考えを比べて条件に合う応答を選ぶ学習に進んで取り組み、友達の反応や自分の記録を確かめながら、言葉の使い方や捉え方を見直そうとしている。

単元の流れ

光村図書の年間指導計画による全1時間（話・聞1）。総時数は公式資料に従う。各時の配分と本時の選定は、本案による授業配当の提案である。

次	時	学習活動	評価規準（評価方法）
第1次	1 （本時）	○相手と話す目的を確かめ、聞いて知りたいことや話す材料を出す。共通のテーマの下で、それぞれが考えた対象の特徴を伝える。聞き手は特徴を短く記録して何を考えたか予想し、答えを照合して聞き取る手掛かりを話す。聞き手が受け取った内容を話し手に返す。伝わらなかったところを聞き返し、言い方や聞き方を試し直す。	思①（発言・活動中の記録・作成物）



本時の案

本時の目標：必要なことを記録しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもつことができる。(A(1)エ)

段階	学習活動 (○主な発問) ・予想される児童の反応	指導上の留意点 (◎評価)
導入 (分)	相手と話す目的を確かめ、聞いて知りたいことや話す材料を出す。 ○「友達の答えを聞くと、どんなことを確かめて次に話せますか」 【めあて】相手の言葉をよく聞き、互いの考えを比べて条件に合う応答を選ぶ。 〈予想される児童の反応〉 ・特徴をまとめて聞くと何を考えたか分かる。	最初の言い方や記録を残し、授業後の考えと比べられるようにする。正答を先に示さず、扱う言葉と課題を確認する。
展開 (分)	○「友達の答えを聞くと、どんなことを確かめて次に話せますか」 共通のテーマの下で、それぞれが考えた対象の特徴を伝える。聞き手は特徴を短く記録して何を考えたか予想し、答えを照合して聞き取る手掛かりを話す。 聞き手が受け取った内容を話し手に返す。伝わらなかったところを聞き返し、言い方や聞き方を試し直す。 〈予想される児童の反応〉 ・特徴をまとめて聞くと何を考えたか分かる。 ・予想と違った理由を確かめたい。	特徴を表す語の記録欄を用意し、共通する特徴だけでは決められないことを確かめる。正解の数より、聞いた語から予想した理由を取り上げる。 想定する難しさ：一つの特徴だけで決め、後の説明を聞き落とす。 評価では、必要なことを記録しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもっているかを、聞き取った特徴、予想した対象、答えを照合した記録と活動中の発言・操作から確かめる。作品の量や見た目、発言の回数だけで判断しない。 ◎思① 必要なことを記録しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもっている。(発言・活動中の記録・作成物)
まとめ (分)	【まとめ】問いへの答えを、今日確かめた言葉や表現を含めて話す。 聞き取った特徴、予想した対象、答えを照合した記録を見返し、初めと変わった点や、そのまま残した理由を確かめる。 〈予想される児童の反応〉 ・予想と違った理由を確かめたい。	教師のまとめを写すだけにせず、本人が選んだ言葉と理由を確かめる。態度は本時だけで決めず、単元を通した取り組みと調整の記録を合わせて判断する。 ◎態① (最初と最後の記録、見直しの理由)

板書の構造（縦書き・右から左へ）

縦書きで、右から左へ学習の流れを配置する。右端に題名とめあて、その左に問い「友達の答えを聞くと、どんなことを確かめて次に話せますか」。中央は、聞き取った特徴、予想した対象、答えを照合した記録に必要な言葉・材料と、考えた理由を対応させる。本文を扱う場合は先生が手元の教科書から必要な範囲を示す。左側に比べて気付いた点と見直した箇所、左端に本時で確かめたことを置く。

つまずきやすい所と手当て

一つの特徴だけで決め、後の説明を聞き落とす。この難しさには、特徴を表す語の記録欄を用意し、共通する特徴だけでは決められないことを確かめる。正解の数より、聞いた語から予想した理由を取り上げる。評価では、必要なことを記録しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもっているかを、聞き取った特徴、予想した対象、答えを照合した記録と活動中の発言・操作から確かめる。作品の量や見た目、発言の回数だけで判断しない。

プリントの案

本時の記録

聞き取った特徴、予想した対象、答えを照合した記録を残す欄を用意する。教材本文や図を複製せず、自分の言葉や印で記録する。

比べて確かめたこと

最初の考えや表現、友達からの反応、確かめた言葉、最後に選んだ考えや表現を対応させる。書く負担が大きい場合は口述や指差しも教師が記録する。

出典：光村図書 令和6年度版 年間指導計画。教材名・時期・総時数・目標の出典。年間指導計画例 Excel（4年）「4年上巻」4行目（https://www.mitsumura-tosho.co.jp/download_file/view/3db56761-ee29-4e40-81b8-d9480c60cd85/368）／文部科学省 小学校学習指導要領（平成29年告示）。保存した公式原文と学年段階・項目を照合。

（https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1384661.htm）／国立教育政策研究所「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 小学校 国語。評価の観点と記録の考え方。

（https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_pri_kokugo.pdf）

AIが作成した授業案です。授業での検証は未実施です。自校の教材・年間計画・学級の実態に合わせて確認してください。



Threads「三重でAI使うなら」(@mie_ai_katsuyo)
https://www.threads.com/@mie_ai_katsuyo

LINEオープンチャット
みえ先生ラボ

